



▲12月14日に企業立地協定書調印式を行いました



◀昨年12月にミツフジ㈱が販売を開始した商品。導電性繊維で編まれた縫い目のないニットウェアが、心拍や心電、呼吸など様々なデータを取得します。また、中央に着けられたトランスミッターでデータを外部に飛ばし、スマートフォンなどで確認することができます。取得したデータを活用することで、例えば、従業員の安全管理や高齢者の安否確認、更には家畜の個体管理等に役立てることができます。ミツフジ㈱に関する情報は、今後も広報かわまたでご紹介していきます。

企業立地が決定 京都「ミツフジ株」

西部工業団地に企業進出

鶴沢の西部工業団地に、「ミツフジ株式会社」(本社京都府)の立地が決定し、町は同社と企業立地協定を締結しました。同社は、京都の西陣織工場として創業し、現在は銀メッキ導電性繊維(電気を通す糸)を応用したIoTウェアブルデバイス(シャツ型電極及び小型トランスミッターなど)の研究・開発・製造を行っています。川俣町では商品の開発から製造まで一貫して行っていく予定で、高い技術を生かし、福島復興、少子高齢化社会等の問題解決に貢献する循環成長型事業を手掛けたいという強い思いで進出を決定いただきました。今後、工場の建設を進め、今年12月から工場の稼働を開始する予定です。

▽養蚕を通して、川俣町の歴史と文化をいっぱい学びました。



養蚕、貴重な体験に表彰

富田小学校に「蚕を学ぶ奨励賞」

富田小学校に、一般財団法人大日本蚕糸会から「蚕を学ぶ奨励賞」が贈られました。富田小学校は、15年前から、地域のみなさんの協力のもと、蚕の飼育から染織体験まで、年間を通した養蚕学習を行っています。地域が一体となり、長期間継続して養蚕を学んできたことが今回の表彰につながりました。今後も、みんなで協力しながら、養蚕の伝統を学んでいきましょう。

▽来年もみなさんの活躍を期待しています。



若い力が輝き放つ!

11月20日「ふくしま駅伝2016」

川俣町チームは、朝7時40分、白河をスタートし、福島県庁までの16区間95.1kmを、5時間30分40秒で走り抜きました。今年の川俣町チームは、平均年齢15.7歳と若いチームで、特に中高生の好走が光り、総合21位、町の部7位入賞(前年町の部8位)と、2年連続で前年を上回る素晴らしい結果を残しました。来年もさらに上を目指し頑張ってください!

ぼくらの宇宙へ みんなおいでよ！

羽山の森で、こども美術展

1月29日まで、羽山の森美術館で、「こども美術展」が開催されています。町内の子どもの作品を展示した美術展で、創造性豊かな作品やかわいらしい作品が楽しめます。川俣幼稚園年長組のタイトルは「うちゅうたんけん」。いろんな宇宙人が登場するおもしろい宇宙へ、みなさんもぜひでかけてみてください。(羽山の森美術館：Tel 566-3367、月曜日休館)



子どもたちの豊かな想像力を楽しんでください▷



▽新庁舎建設には多くの方々からご協力をいただきました。



建設関係者に感謝状

川俣町役場新庁舎落成式を挙行

12月11日、新庁舎3階の大会議室・農業委員会室において川俣町役場新庁舎落成式を行いました。式では、新庁舎建設にあたり、土地を提供していただいたみなさんやご寄附をいただいたみなさん、工事関係者などへ、町長から感謝状が贈呈されました。今後は、多くの方々の協力のもと落成したこの新庁舎から、町の復興・発展への歩みを力強く実現していきます。

▽今後も山木屋太鼓の響きを世界に発信してください。



山木屋太鼓が音楽賞受賞

第3回 JASRAC 音楽文化賞

11月18日、山木屋太鼓がJASRAC音楽文化賞を受賞しました。これは、山木屋太鼓が、原発事故後も国内外で公演を続け、復興に向けた力強い意志を世界に発信してきたことが高く評価されたものです。遠藤会長は、「受賞は励みになる。子どもの減少など、今後も厳しい状況は続くと思うが、伝統と文化を次の世代にしっかりと継承していきたい」と力強く語りました。